

献 辞

長年にわたって専修大学ならびに商学部に貢献されてきた3先生が古希を迎えられ、定年退職されることとなりました。商学部長として健康で定年をお迎えした3先生にお祝いをのべるとともに、大いなる人材を失うことに、惜別の気持ちを込めて献辞を捧げます。

小島崇弘先生は東京都のご出身、学習院大学理学部を1965年に卒業後、プリンス自動車販売(株)技術課に勤務されました。その後、中央大学商学部に1966年4月学士入学され、10月に退学し、1967年同大学大学院商学研究科へ進まれました。当時は、日本企業にコンピュータが導入されようという黎明期で、機械会計、コンピュータ会計を提唱した大山政雄先生の指導を受けました。1970年土浦短期大学の専任講師となり、同大学で助教授を経て、1979年に専修大学商学部に入職されました。1986年に教授に昇格され、在職年数は33年となります。

電子計算機室学術利用委員会委員、情報科学センター員、同運営委員、同教育指導室長などを勤められ、1993年から4年間情報科学センター長を勤められました。さらに1997年から2年間商学部長を務められました。この時期は、現在の商学部の骨格となる、平成12年度導入の新カリキュラムを策定していた時期となります。この新カリキュラムでは、それまでの科目体系をいったん棚上げにして、商学部としてどのような科目が必要なのかを一から議論し、全く新しいカリキュラムを作ろうとするものでした。商学部の専門科目セメスター制、マーケティング学科(当時は商業学科)のコース制など、現在のカリキュラムの骨格を練り上げた時期となります。

その後、2004年から6年間、eキャンパス推進委員会委員長をなされ、専修大学の情報化ならびに、10号館、11号館建設の際には情報システム関係ばかりでなく、全体的な教育環境の整備に尽力されました。

小島崇弘先生は経営数学会の理事・常任理事を長らく務められ、2007年から4年間会長も務められました。私の同門の先輩であり、共同研究の学会発表や論文、著作物などもあり、学部長ということではなく、私個人としても先生とお別れするのは寂しさがひとしおです。

渋谷武夫先生は神奈川県川崎市のご出身です。1966年に一橋大学経済学部を卒業され、日本生命保険相互会社に6年半ほど勤められてから、早稲田大学大学院商学研究科修士課程、博士課程を修了され、1980年に富士短期大学専任講師に就任されました。同大学助教授を経て、1985年に専修大学商学部に入職されました。1990年に教授に昇格されております。1995年9月からの長期在外研究員として1年間シドニー工科大学の客員研究員をされました。在職年数は27年となります。

入職後、就職指導委員会委員、入学試験委員、学生部次長、二部学生部長、全学FD委員会委員長、その他多くの委員をされました。2001年から2003年まで会計研究所長、2005年から2008年まで大学委員会委員、さらに2008年から1年間、大学院商学研究科長も務められました。

学会活動としては、日本会計研究学会評議員、日本簿記学会理事、日本セキュリティ・マネジメント学会理事・常任理事などを務められ、1999年から全国経理教育協会の上級審査委員会委員、2010年から2年間公認会計士の試験委員(管理会計)なども歴任されました。

著作物は非常に多く、主要な単著だけでも、1994年『アメリカの経営管理分析』中央経済社、1994年

『経営分析の考え方・すすめ方』中央経済社，1994年『上級簿記演習（原価計算・工業簿記）』税務研究会，2000年『原価計算の考え方・すすめ方』中央経済社，2005年『アメリカの経営分析論』中央経済社，2010年『ベーシック簿記教室』中央経済社，2011年『ベーシック経営分析（第二版）』中央経済社などがあります。

体育会合気道部部長をされていることは存じ上げておりましたが，合気道四段，少林寺拳法三段であることは，今回先生の履歴を拝見して驚きました。渋谷先生は，現在神奈川県の子立の進学校である浅野高校の「かつてのよき時代」のご卒業で，私は浅野高校の「低迷時代の後輩」となります。

近藤正明先生は京都生まれの大阪育ちということですが，東京都立小石川高校を卒業されています。1965年に東京大学理学部を卒業され，東京大学大学院理学系天文学修士課程，博士課程を修了され，1970年から東京大学教養学部宇宙地球科学教室の助手を務められました。1984年に専修大学商学部へ移られ，1986年に商学部教授に就任されています。在職期間は，28年となります。

専修大学では，情報科学センターセンター員，教養課程委員会委員，入学試験委員，図書館委員会委員，就職指導委員会委員，教員資格審査委員会委員，二部学生部次長など多くの委員を担当されました。

学会は，日本天文学会，国際天文学会連合などに所属され，数多くの業績を出されており，1975年東京大学より理学博士号を受けています。1994年から1年間，ハーヴァード・スミソニアン天体物理研究所で長期在外研究員として研究を行っております。

専修大学では，地学や地球と宇宙の科学などの科目を担当され，本学の自然科学領域のリーダーの1人として活躍され，2009年から2年間専修大学自然科学研究所の所長をされました。

以上，小島崇弘先生33年，渋谷武夫先生27年，近藤正明先生28年と，商学部の歴史とともに歩まれた三先生，長い間の教育，研究に心血を注がれ，われわれ同僚や学生たちに多大な影響を与えてくださいました。このような先生方の本学に対するご貢献に，感謝の意を込めて記念号を編み，謹んで謹呈する次第であります。

2012年1月吉日

商学部長 内 野 明